神奈川県内4～6月景況感、2期連続マイナス 財務事務所

#神奈川

2022/6/13 19:10

横浜財務事務所が13日発表した4～6月期の法人企業景気予測調査によると、神奈川県内企業の景況感を示す景況判断指数（BSI）は全規模・全産業ベースでマイナス7.8だった。前回調査の1～3月期と比べ2.8ポイント上昇したが、2期連続のマイナスとなった。新型コロナウイルス禍による中国の都市封鎖に伴う供給制約や原油高などが響いた。

BSIは景況感が前の四半期に比べて「上昇」と答えた企業の割合から「下降」と答えた割合を差し引いた値。調査時点は5月15日。

製造業はマイナス18.9で、前回調査より11.7ポイント下がったが、非製造業はマイナス0.3で同12.8ポイント上昇した。国内の新型コロナの影響が和らぎ、行動制限が解除され、運輸業や娯楽業などの景況感が改善したことが功を奏した。

西村則人所長は先行きについて「供給制約の緩和には期待するが、ウクライナ情勢や円安に伴う物価高や仕入れ価格の上昇には引き続き注視が必要」とした。